



第275号

2011年(平成23年)12月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空満町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 今井 宣子
大臨技ホームページ URL
http://www.osaka-amt.or.jp/

他職種公開講座

第1回 北支部地域オープンセミナー

評価点

基礎教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

『検査と薬 ～感染症領域における臨床検査技師と薬剤師の役割～』

検

査と薬は密接な関係にあります。携わっている検査技師と薬剤師のコミュニケーションは、うまく図れているでしょうか?感染症やTDM、施設によっては輸血業務など多くの分野において共有すべき情報があるはず。

そこで、今回の北支部自由集会は地域オープンセミナーとして、検査技師と薬剤師のコミュニケーションの向上を目的に、大阪病院薬剤師会との合同企画としました。感染症を題材として、検査側からは、診断ツールである細菌検査の利用方法や簡易迅速キットの性能、炎症マーカーの見方などについて話してもらいます。また、薬剤師の先生には、抗生剤とはどんなものか、そして抗生剤の使い方について分かりやすく紹介していただくよう願っています。

診断と治療に深く関わる両部門の相互理解を深める良い機会になると思っていますので、みなさんの参加をお待ちしています。



- 日時 平成23年12月3日(土) 15:00~18:00
- 会場 大阪医科大学PA会館(新講義実習棟)1階 P-101講堂
※いつもと講堂が異なりますのでご注意ください。
(高槻市大学町2-7、阪急高槻市駅徒歩2分、
またはJR高槻駅徒歩10分)
- 参加費 500円
- 連絡先 北支部長 竹下 仁(大阪府三島救命救急センター)
Email: takesita302@osaka-mishima.jp

【内容】

1. 感染症診療の各ステップでの細菌検査の使い方(基礎編)
講師: 大阪医科大学附属病院 中央検査部 東山 智宣
2. 炎症マーカーの見方・考え方
講師: 関西西大香里病院 MCM 検査室 藤原 拓樹
3. TDMと抗菌薬
講師: 大阪医科大学附属病院 薬剤部 山田 智之
4. 抗菌薬の使い方
講師: 大阪府三島救命救急センター 薬局 西本 香王里



共催: 大阪府病院薬剤師会

他職種公開講座

平成23年度 手話講演会

評価点

基礎教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme 『相手の心に一歩近づくコミュニケーション』
講師: はたらく心をトータルサポート

保健師・心理カウンセラー 徳永 京子



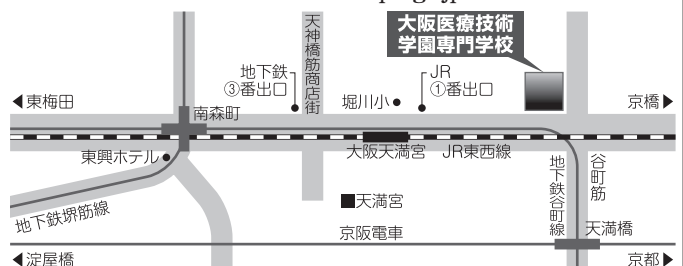
「視力や聴力に障がいのある人たちは、受診時にどんなことを求め感じているの?」

きっと我々だけでは気づかないことや、ちょっとしたことで改善できるようなことがたぶん多いのでは無いでしょうか。

コミュニケーションのあり方について考える... 堅苦しく聞こえますが「心♥を伝えること」を大切にできた徳永先生の講演は、いつも温かく和やかな雰囲気、我々でも出来る何かを必ず見つけることが出来ます。

検査技師だけでなく医療に関わる多くの人に聞いていただきたい講演ですので、自施設でお誘い合わせのうえ、多数のご参加をお待ちしています。

- 日時 平成23年12月3日(土) 14:30~16:30
(受付: 14:00より)
- 会場 大阪医療技術学園専門学校
- 参加費 無料
- 連絡先 (財)大阪府警察協会大阪警察病院 赤木 征宏
Email: biseibutsu@oph.gr.jp



府民公開講座

病理細胞検査部門 特別講演会

評価点

基礎教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme

**「貴女とお嬢様のための子宮頸がん講座
—治療する時代から予防する時代へ—」**

講師: 誠仁会 大久保病院 産婦人科医師 小笠原 利忠

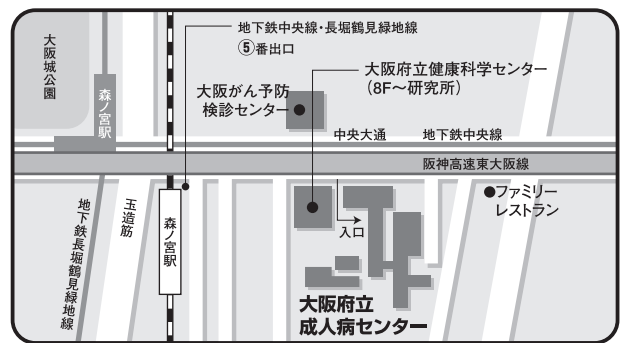
最近、さまざまなメディアでも取り上げられている「子宮頸癌」について、臨床の最前線でご活躍されています大久保病院 産婦人科 小笠原 利忠先生を講師としてお招きしてご講演をしていただくことになりました。下記の内容を主に臨床的なお話や細胞診などの検査に関して判りやすく丁寧なお話をさせていただく予定です。

- ▶子宮頸癌ってどんな病気?
- ▶子宮頸癌の原因となる HPV に関して
- ▶検診の重要性や予防、治療について
- ▶子宮頸癌や前癌病変の細胞像 etc

なお、今回の勉強会は臨床検査技師だけでなく、大阪府民のみなさんや学生さん、また他職種の方の参加も歓迎しています。皆様お誘い合わせのうえ多数のご参加ください。

- 日時 平成23年12月11日(日)
- 会場 大阪府立成人病センター 本館6階講堂
- 参加費 無料
- 定員 150名
- 連絡先 南大阪病院 宇津野 美弥子
Email: jakp@oct.zaq.ne.jp

プログラム	
13:30 ~	受付開始
14:00 ~ 14:05	開会挨拶
14:05 ~ 15:35	講演
15:35 ~ 15:40	閉会挨拶



情報組織部からのお知らせ

**多職種合同ICT研修会
~多くの職種で構成するセミナーです。**

評価点

専門教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

ふだん感染制御チーム(Infection Control Team:ICT)活動をされている方、これから ICT 活動に取り組もうと検討しているあなた、臨床検査技師の目だけでなく、医師・看護師・薬剤師それぞれに置かれた状況からチーム医療を見直して見ませんか。職種を超えて、ICT 活動の将来構想を討論します。

Theme **「ICT 活動の現状と未来
~これからの感染制御について語ろう!~」**

- 内容
- 座長 関西医科大学附属枚方病院 中村 竜也
1. 「ICT 活動の現状と未来 ~ICD の立場から~」
講師: 大阪警察病院 感染管理センター長 臨床検査科部長 水谷 哲
 2. 「ICT 活動の現状と未来 ~ICN の立場から~」
講師: 市立堺病院 看護部 上山崎 みちる
 3. 「ICT 活動の現状と未来 ~BCICPS の立場から~」
講師: 関西医科大学香里病院 薬剤部 河野 えみ子
 4. 「ICT 活動の現状と未来 ~ICMT の立場から」
講師: 県立西宮病院 検査・放射線部 課長補佐 幸福 知己
 5. 総合討論

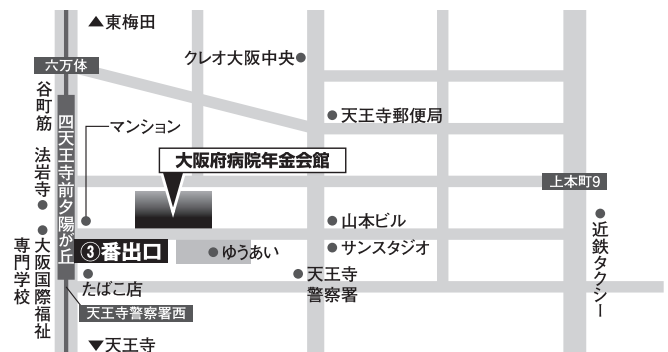
日時 平成23年12月10日(土) 13:30~16:50

会場 大阪府病院年金会館コンベンションルーム
(大阪府大阪市天王寺区六万體町4-11
地下鉄谷町線四天王寺夕陽丘③出口)

参加費 500円

対象 医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師

連絡先 大阪府立成人病センター 臨床検査科 井戸田 篤
Email: idota-at@mc.pref.osaka.jp



他職種公開講座

チーム医療部門 糖尿病療養指導部会 定例勉強会

評価点

基礎教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

糖尿病教室での講義担当が、糖尿病患者さんに関わるきっかけとなった方も多いかと思います。「どうしたら検査のことをもっとわかりやすく親しみやすく説明できるだろうか?」と悩んでいる方も多いのではないのでしょうか?当部会では不定期的に、さまざまな施設での糖尿病教室での取り組みをシリーズでご紹介しています。何かヒントが見つかるかもしれません。

また、糖尿病は動脈硬化の危険因子であり、検査方法は様々な項目が挙げられます。その中でも血圧脈波検査は、操作が簡便で、動脈硬化を客観的に評価することのできる非侵襲的な検査です。後半の勉強会では、血圧に依存しないCAVI (cardio ankle vascular index 心臓足首血管指数) を中心に原理や測定のポイントなどを紹介したいと思います。ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております。

内容

1. 糖尿病教室の紹介 シリーズその2

講師: 住友病院 佐藤 直美

2. 「糖尿病と血圧脈波検査について」

講師: 松下記念病院 江後 京子

■日時 平成23年12月14日(水) 18:30~20:00

■会場 大阪鉄道病院 3階講堂
(JR天王寺駅、地下鉄御堂筋線・谷町線天王寺駅、
近鉄阿部野橋駅 徒歩5分)

※会場の入口で臨床検査技師会会員の提示の協力をお願いします。

■参加費 500円(一律)

■連絡先 ふくだ内科クリニック 横山 有子
Email: ar-ykym@mua.biglobe.ne.jp



糖尿病療養指導士認定のための更新単位(第1群):0.5単位
(CDEJの方で認定機構発行の「学会・研修会出席証明書」の
必要な方は各自持参して参加証明印をもらってください。)

他職種公開講座 第20回 糖尿病療養指導士講演会

■日時 平成24年2月5日(日) 8:50~12:30

(8:30より受付)

■会場 大阪大学中之島センター 10F ホール

■参加費 500円(一律)

■共催 (社)大阪府臨床検査技師会 糖尿病療養指導部会
(株)三和化学研究所

■連絡先 ふくだ内科クリニック 横山 有子
Email: ar-ykym@mua.biglobe.ne.jp

評価点

専門教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme 糖尿病劇場から学ぶ、患者さんとの コミュニケーション法

内容

講演1部 「POCT機器の臨床意義~臨床検査技師の立場で~」

講師: 国家公務員共済組合連合会 新小倉病院
右田 忍

講演2部 「糖尿病劇場 in 中ノ島

~検査の知識を活かして患者さんとの
コミュニケーションをとりよう~」

講師: 国立病院機構 京都医療センター
臨床研究センター 予防医学研究室
医師 岡崎 研太郎
薬剤師 岡田 浩

府民公開講座

平成23年度 大放技・大臨技

合同フォーラム

Theme 「感染(うつ)さない 感染(うつ)らない 身近に忍び寄る結核」

■日時 平成24年1月21日(土) 14:00~16:45

(受付 13:30~)

■会場 大阪府医師協同組合本館 8階
(大阪市営地下鉄 谷町六丁目駅③番出口下車)

■参加費 無料

■定員 200名(先着)

■主催 (社)大阪府放射線技師会
(社)大阪府臨床検査技師会

■後援 大阪府・大阪市

■連絡先 市立豊中病院 清水 隆之

Email: akane@mub.biglobe.ne.jp

評価点

基礎教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

教育講演I 「胸部X線画像から見える結核」

講師: 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター
放射線科 副技師長 別所 右一

教育講演II 「早期診断に繋げる結核菌検査」

講師: 財団法人結核予防会大阪府支部 大阪病
院 診断検査部 臨床検査科 伏脇 猛司

特別講演 「結核症の診断、治療及び院内感染対策について」

講師: 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター
感染症内科部長 永井 崇之

府民公開講座

輸血検査部門 学術講演会

評価点

専門教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数



「iPS 細胞について」

講師：京都大学 iPS 細胞研究所 教授
木村 貴文

今回の学術講演会は「iPS 細胞について」と題して京都大学 iPS 細胞研究所の木村貴文教授をお迎えして府民公開講座として企画しました。

iPS 細胞は非常に多くの細胞に分化できる分化万能性と自己複製能をあわせ持つ細胞で、再生医療を始め、今まで治療のなかった難病の発症メカニズムの研究や、患者自身の細胞を用いて薬剤の効果・毒性を評価する等、全く新しい医学分野を開拓する可能性を秘めており、その研究には世界中の注目が集まっています。

最先端のお話を聞けるめったにない機会ですので、皆さまの参加をお待ちしています。

■日時 平成24年1月14日(土) 14:00~15:30
(受付 13:30~)

■会場 大阪医科大学 臨床第一講堂

■参加費 無料

■問い合わせ 「件名」を「学術講演会問い合わせ」として下記アドレスへメール送信又は電話でお問い合わせください。

Email: yuketsu-osaka@mail.goo.ne.jp

T E L : 06-6372-0675 (大阪府済生会中津病院 深田恵利奈)



輸血セミナー2012

■日時 平成24年2月11日(土) 10:00~16:00 (予定)

■会場 大阪医科大学

★詳細は次号の大臨技ニュースに掲載します。

内容

【講演】

①「臨床医が求める検査結果報告書の書き方」

②「異型輸血事故から学んだこと」

【シンポジウム】

「認定輸血検査技師について」

- ・ 認定輸血検査技師に必要とされる知識・検査技術
- ・ 認定輸血検査技師として輸血管理業務への関わり
- ・ 認定輸血検査技師に期待されること



学術部 一般検査部門からのお知らせ

大臨技 一般検査フォーラム

■日時 平成24年1月29日(日) 10:00~16:30

■会場 関西医科大学付属滝井病院 南館2階臨床講堂

詳細は大臨技ニュース1月号に掲載いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

大阪臨床検査 ISO 15189 研究会

第9回 大阪臨床検査ISO15189研究会のご案内

平成23年6月の時点で国内でのISO15189認定施設は59施設になり、着実に認定施設が増加している現状です。

今回の研究会では、ISO15189でも重要な安全管理対策として、採血室および情報システムについて取りあげました。

またISO15189認定関連では、取得経験および最新情報についてご講演いただきます。

認定取得を検討中の施設の方はもちろん、ISO15189に関心のある方は、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

また、今回の好評であった意見交換会を設けておりますので、こちらにもふるってご参加くださいますようお願いいたします。

■日時 平成23年12月10日(土) 14:00~19:00

(13:30 開場)

■会場 大阪医科大学 新講義実習棟 1F 101号室

地図▶1ページ 北支部地域オープンセミナー記事 参照

■参加費 500円

■主催 大阪臨床検査ISO15189研究会

■共催 大阪府臨床検査技師会

■後援 財団法人日本適合性認定協会(JAB)

■連絡先 世話人代表 大阪医大病院中央検査部 井口 健

Email: kenmie@ruby.famille.ne.jp

評価点

基礎教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数
医療情報技師更新ポイント 1点(予定)

大阪臨床検査ISO15189研究会ホームページ

URL: <http://www3.famille.ne.jp/~kenmie/iso.html>

プログラム

1. 安全管理対策(採血室、情報システム)

「医療における情報セキュリティ対策」

講師：トレンドマイクロ株式会社 松山 征嗣

「採血室管理におけるRFID検体情報統括管理システムの有用性」

講師：株式会社テクノメディカ 平沢 修

2. ISO15189 認定関連

「チーム医療と検査室マネジメント、そしてISO15189」

講師：金沢医科大学病院 山崎 美智子

「ISO15189における最近の動向」

講師：公益財団法人 日本適合性認定協会 下田 勝二

3. 見交換会 17:00~19:00

大阪医科大学地下食堂

第22回 近畿臨床検査技師会一般検査研修会のご案内 (日臨技認定一般検査技師認定センター承認研修会申請中)

● 日	時	平成24年2月11日(土) 15:00~2月12日(日) 15:20
● 会	場	1日目 講義 紀三井寺ガーデンホテルはやし大会議室 2日目 実習 和歌山県立医科大学附属病院
● テ	マ	一般検査を基礎から学ぼう
● 定員・受講料		A 講義のみ 3,000円 B 講義+実習 10,000円 C 講義+実習+宿泊+意見交換会 20,000円
● 申込受付期間		Aコース 20名、BとCコースで80名、認定参加証はB、Cの受講者です。 平成23年12月1日~平成24年1月20日、定員になり次第終了します。
● 申込方法		メールで shotani@kinan-hp.tanabe.wakayama.jp へ ①氏名・性別、②メールアドレス ③〒勤務先住所 ④施設名 ⑤電話番号 ⑥希望コースを記入のうえ、申し込み下さい(携帯メール不可)。申し込みは1メールに1名です。 ・受信メール確認後、返信メールにて受講料振込み案内をいたします。 ・お振込みが確認できましたら案内等をメールにて連絡いたします。 ・申し込み後2、3日経っても返信メールが届かない場合は下記の問い合わせ先に連絡をお願いします。 ・参加は、技師会員(日臨技・地臨技)に限ります。

プログラム

▶ 平成24年2月11日(土)

14:30 ~ 15:00	受付		
15:00 ~ 16:00	新しい尿沈渣検査法指針GP1-P4から ---血尿を中心とした新しい検査法の見方・考え方---	金沢日赤病院	油野 友二
16:10 ~ 17:10	髄液細胞の見方・考え方	雪の聖母会聖マリア病院	大田 喜孝
17:20 ~ 18:20	穿刺液細胞 --- みんなが悩む細胞の鑑別ポイント ---	国立病院機構滋賀病院	佐伯 仁志
19:00 ~ 21:00	意見交換会		

▶ 平成24年2月12日(日)

9:00 ~ 9:20	受付		
9:20 ~ 9:30	実習説明		
9:30 ~ 12:30	実習①穿刺液の標本作製と染色、実習②尿沈渣鏡検		
12:30 ~ 13:30	ランチョンセミナー		
13:30 ~ 15:00	実習③髄液検査		
15:00 ~ 15:20	終了式		

● 問い合わせ先 社会保険紀南病院中央臨床検査部 鈴木 恭子 Tel0739-22-5000 (内 7349)

平成23年度 「日臨技精度保証施設認証制度」の申請について (ご案内)

日臨技精度管理調査は、昭和40年より開始し本年度で47回目を実施しました。本年度は3,500施設以上の参加があり、文字どおりわが国で最大の精度管理調査となっております。

また、平成19年度より臨床検査データ標準化を実現するために基幹施設ネットワークを構築し、全国的な標準化を実現するための事業を展開しております。

各都道府県技師会の協力を得、過去4年間の活動により全国の施設間検査データの互換性は高まってきました。今後も検査データの信頼性を維持管理するために、当会主催の外部精度管理調査およびデータ標準化事業に参加し、信頼性が十分保証されていると評価できる施設に対し、「精度保証認証施設」として認定する制度を平成22年度より発足しました。

各施設における標準化が進み、臨床検査の品質が向上する

ことは、わが国の医療の質の向上に繋がります。一方、標準物質や管理試料は高価なものであり、長期的に高品質な精度を維持することは経済的にも厳しいことです。今後は、当会主催の事業が国家的事業として認められ、精度保障に関する業務が診療報酬にまで反映され、かかる費用が担保されるようにならなければなりません。本事業は、その足掛かりとなるものです。

「精度保証施設認証制度」を発足するにあたり、本事業を多くの会員に享受されるよう都道府県技師会への要求事項を暫定的に緩和し、2011年度(平成24年3月31日)までは、「都道府県の精度管理調査事業へ参加していること」とし、受審しやすい体制を整えております。

日臨技ホームページから必要書類をダウンロードしていただき、下記の日程でお申込みいただきますようご案内いたします。

審査日程

都道府県申請受付期間	12月1日(木)~12月14日(水)必着
都道府県審査期間	12月15日(木)~1月8日(日)
日臨技申請受付期間	1月10日(火)~1月20日(金)必着
日臨技審査日程	1月21日(土)~2月5日(日)

日臨技理事会審議、承認 平成24年3月中

承認通知、認証料請求書発送 3月中

認証書発送 4月上旬~中旬

I. 申請手順

1. 申請書類は、本ページ「『精度保証施設認証制度』の申請書類」欄よりダウンロードしてください。
2. 申請書(様式1)に必要な事項を記入し、申請書式(様式2~6)に資料等を揃えて、所属の「都道府県技師会精度保証施設認証委員会」宛に提出してください。
3. 申請書受付開始:平成23年12月1日(木)
4. 申請書受付締切:平成23年12月14日(水)必着

II. 申請費用

50,000円です。

日臨技理事会承認後、認証の合格通知と請求書が送付されます。

「第1回 腹部エコー実技研修会」のご案内

大臨技生理検査部門では、これまで心エコー、血管エコーの実技研修会を行ってまいりましたが、このたび皆様のご要望にお応えして腹部エコー実技研修会を開催することに致しました。(これは大臨技と大阪超音波技術研究会との共同企画です)

この研修会は、丸1日をかけて徹底的な実技講習(3~4人/台)と講義をコラボさせて、技術と知識の両方を取得できるようにプログラムした研修会です。コースはAコース(初心、初級)、Bコース(中級)の2コースです。

Aコースでは上腹部のスムーズなスキャンと超音波解剖の理解を目指します。Bコースでは消化管に的を絞り、徹底的なスキャンの習得と異常像の理解を目指します。新たに始まるこの研修会にぜひともご参加ください!

● **テーマ** 身につけよう、技と知!

● **開催日時** 平成24年1月15日(日) 9:00~17:30

● **会場** 大阪府医師協同組合本部 会場地図: <http://omca.or.jp/kumiai/accessmap.html>
〒542-8580 大阪市中央区上本町西3丁目1-5

● 内 容	時間	Aコース	Bコース
	9:00 ~ 9:15		受付
9:15 ~ 9:20 (5分)		開会・オリエンテーション	
9:20 ~ 10:00 (40分)		講義① 「これだけは押さえておきたい解剖学的知識」	
10:00 ~ 10:10 (10分)		移動・休憩	
10:10 ~ 11:10 (60分)		講義② 「基本操作、肝」	実技講習① 「胃、十二指腸」
11:10 ~ 11:20 (10分)		移動・休憩	
11:20 ~ 12:20 (60分)		実技講習①	講義② 「胃、十二指腸疾患」
12:20 ~ 13:00 (40分)		昼食	
13:00 ~ 14:00 (60分)		講義③ 「胆、膵、脾」	実技講習② 「虫垂、回盲部」
14:00 ~ 14:10 (10分)		移動・休憩	
14:10 ~ 15:10 (60分)		実技講習②	講義③ 「虫垂、小腸疾患」
15:10 ~ 15:20 (10分)		移動・休憩	
15:20 ~ 16:20 (60分)		講義④ 「腎、全体のスキャン」	実技講習③ 「大腸」
16:20 ~ 16:30 (10分)		移動・休憩	
16:30 ~ 17:30 (60分)		実技講習③	講義④ 「大腸疾患」
17:30		閉会・解散	

● **募集人員** Aコース40名、Bコース40名<各コースとも先着順> 定員になり次第締め切ります

● **参加資格** 医師、臨床検査技師、放射線技師、他、医療従事者で腹部エコーを勉強した方ならどなたでも参加できます。

● **参加費** 10,000円

● **応募期間** 平成23年12月19日(月)~平成24年1月6日(金) 12月19日以前の申込みに関しては受付いたしません

● **申込要項** 以下の項目を全て記入の上、メールにて下記アドレスへ申し込みください

1. 氏名 2. カナ氏名 3. 年齢 4. 性別 5. 職種 6. 施設名 7. 部署名 8. 施設住所
9. 連絡先E-mailアドレス(携帯メールは×) 10. 希望コース 11. 腹部エコーの経験年数
12. あなたご自身の1ヶ月の検査件数(概算で結構です。)

【注意】 10. の希望コースに関しては、AコースまたはBコースのどちらか1つお選びください。

Aコース: スクリーニング検査が出来るになろう! (初心者・初級者対象)

Bコース: 消化管エコーをマスターしよう! (中級者対象)

● **申込先** seiribukai@hotmail.co.jp

1メール1名でお願いします。(同じメールアドレスを数回利用するのは可)

● **備考** 受付確定メール受信後、一週間以内に下記口座に参加費を振込んでください。

三菱東京UFJ銀行難波駅前支店 普通口座No. 0786238

口座名 大阪府臨床検査技師会生理検査部門 寺西 ふみ子

振込み手数料は各自ご負担下さい。振込み後の参加費の返金はいたしません。

● **主催** 大阪府臨床検査技師会 学術部 生理検査部門

● **問合せ先** 市立豊中病院 山内一浩 (yamakazu_olive@yahoo.co.jp)

近畿心血管治療ジョイントライブ 2011 KCJL2011 メインテーマ: Gaze the future ~ From Kansai

開催にあたって

まずは、この度の東日本大震災により被害にあわれた方々に心よりお見舞いを申し上げるとともに一日も早い復興をお祈りし、できる限りのお手伝いをさせていただきたいと日々思っております。

KCJL2011も3月11日の東日本大震災以降、開催を延期しておりましたが、
学問、知識、治療技術は止まることなく歩んでおります。

ライブデモンストレーションを通じて新しい知識、技術に直に触れたいというご意見も多く、
少しでも元気のある関西より未来を見つめるという意味も含めて
KCJL2011を開催させていただくことにいたしました。
知識、技術革新にすこしでもお役にたてれば幸いです。

日時①

平成23年12月20日(火)～22日(木)

会場

メルパルク京都

日時②

平成23年12月24日(土) (surjicalプログラムのみ)

会場

京都センチュリーホテル

参加費

コメディカル抜粋

<事前> WEB 申込み要 (12月9日まで)

全日参加: 2,000円 1日参加: 1,000円

<当日> 全日参加: 3,000円 1日参加: 2,000円

当番世話人

大辻 悟 (東宝塚さとう病院)

問い合わせ先

KCJL事務局

〒440-0851 愛知県豊橋市前田南町1-1-5 2E

TEL: (0532) 57-1278

FAX: (0532) 52-2883

Email: kcjl@kcjl.gr.jp

詳細プログラムおよび事前申込みは

<http://www.kcjl.gr.jp/>

Report

豊中健康展報告

とよなか市民健康展に参加して

市立豊中病院臨床検査部 齊藤 直輝

10月2日(日)に第36回とよなか市民健康展が中央公民館とアクア文化ホールにて開催され、私は技師会が担当するメタボリックシンドロームのポスター展示を手伝わせていただきました。

市民の方々の中には、ポスターの展示内容に興味をもたれメタボリックシンドロームの改善策をメモに残す方や、積極的にスタッフに質問や会話をする方がおられました。日常業務では味わうことのできない体験に私も張り合いが出て、暇を感じることなく一日を楽しむことができました。

骨密度測定、乳がん自己検診法、歯科健康クイズやフランダースなど多くのコーナーが賑わい、市民の方々が毎年の市民健康展を楽しみにしておられることを実感しました。薬剤師会の配布資料は充実していて私にとっても大変勉強になりました。今後も健康啓発活動を進めていただきたいと思います。

大変有意義な一日でした。また来年も参加したいと思います。



「日当直の不安をいっしょに解決しませんか・・・？」に参加して

於：平成23年10月4日 あべのメディックス

私は、この春に学校を卒業し岸和田徳洲会病院にて勤務しており、今回、緊急検査部会の勉強会に初めて参加させて頂きました。当院での6ヵ月間の中央検査室部門の研修を終え、翌日にいよいよ初当直を迎えることになっていた私にとって、「日当直の不安をいっしょに解決しませんか？」がテーマの勉強会は非常に興味深く、少しでも当直業務の不安を無くすことが出来るのではないかという思いで先生方のお話を拝聴させて頂きました。

今回のご講演の中には、私自身、日勤帯に実際に経験した内容のものもいくつか含まれていましたが、まだ経験していない内容のものも数多くありました。そういった意味においてこれから先、役立ちそうな内容のものばかりでしたので、とても勉強になりましたし、必ず記憶に留めておこうと思いました。そういった経験の積み重ねがプロの臨床検査技師となるために必要なことであり、同時に日当直への不安も解消されていくものだと感じました。今回の勉強会に参加したことは、自分にとって、とてもプラスになりましたので、このような企画をこれからも継続して頂きたいと思えます。何より参加人数の多さが期待の大きさを物語っているものと感じました。ご講演いただきました先生方、世話人の先生方、どうもありがとうございました。

岸和田徳洲会病院
西村 紘輝

10月4日に開催された第3回緊急検査部勉強会「日当直の不安をいっしょに解決しませんか・・・？」に参加させて頂きました。日当直業務で「見落とし易いケース」や「未認識なケース」に不運にも遭遇した場合、どのように対処し、臨床側へ報告すべきなのかという道筋を学びたいという思いからでした。私自身、臨床検査技師として15年間ほど就業していますが、日当直業務での経験は浅く、恥ずかしながら現在でも各種検査手順書や標準作業書、ときにはWebで検索するなどして不安を解消したりしています。当日は、平日の火曜日にも拘らず、会場は同じような不安を抱えている方々で会場は超満員で、若年層が中心ではありますが幅広い年齢層の方々が見受けられました。後ほど伺うと約160名もの参加があり、本テーマに対する関心の高さが見て取れました。

1題目は、「えっ！これ凝集してるの？ たまにするクロスは不安だらけ・・・」という、日当直業務での血液型・交差適合試験に関する演題で、普段携わっていない人にとっては最も不安で責任重大な業務なのかなと思います。検査手技の基礎からちょっとした工夫まで、これ凝集かな？と迷った際に役立つ内容を分かり易く学ぶこ



とが出来ました。また、個人的な興味ですが、近年では間接抗グロブリン試験の反応増強剤としてPEG（ポリエチレングリコール）を使用している施設が増加しているため、そちらの方法に起因する異常な反応等や、実際に経験された内容があればお聞きしたかったです。

2題目は、血球計数機から見る異常と遭遇しやすい検体の異常について、分析結果からみた考え方及び対処法などを分かり易く解説して頂きました。私自身、血液検査の経験がほとんど無かったので、データを確定する為の「目の付けどころ」を学ぶことができました。上記の2題は共に、寒冷凝集反応についても触れており、これからの季節は遭遇する率も増える為、特に気を付ける必要性を感じました。

3題目は、化学分野から「このデータ・・・そのまま報告していいですか？」と如何にも何か畏を忍ばせているようなテーマでした。実際の現場で遭遇した結果を基に、疑うべき項目や何故おかしいと思った根拠など、正に「目から鱗」の盛り沢山の内容でした。注目したのは、前日の預かり検体を血清未分離のまま再遠心すると、血清カリウムをはじめLDH（乳酸脱水素酵素）等の上昇がみられるという点や、クレンジング（採血時において掌の開閉）を行う事により上昇する項目など、通常の業務では気づき難いような事項にも触れられ、新しい発見の連続でした。

公聴し終わって、少し賢くなったと錯覚しているのは私だけでしょうか？

3題共、各講師の先生方が実際の現場で遭遇し、苦慮された症例を基に説明していただき、非常に貴重な勉強会だったと思います。数ある勉強会の中でも、ここまでリアルな内容の物は少ないため良い経験になりました。次回からもぜひ参加させて頂きたいです。

大阪医科大学付属病院 中央検査部
山本 憲司



第7回 府民健康フォーラム ～私たちの暮らしと薬・検査・栄養～ 報告

あなたの腎臓大丈夫ですか？

於：平成23年10月2日(日)
大阪YMCA国際文化センター

総務部広報 山田 真規子

今年も大阪府薬剤師会、大阪府栄養士会、大阪府臨床検査技師会3団体共催での健康フォーラムが開催された。今回は開催日を日曜日に設定し「腎臓」をテーマにとりあげ、200名以上の参加者を動員した。

大阪赤十字病院、腎臓内科部長の菅原 照先生による基調講演「最近話題の慢性腎臓病(CKD)・・・あなたの腎臓大丈夫ですか？」では総括的にわかりやすく疾患をお話いただき、各団体からはそれぞれの分野視点での講演が、府民や他コメディカルの興味を誘う話題を軸にして進められた。

7回目を数えた今回、講演後の会場からの質疑応答にも活発さが増しているように感じられたが、それは講演の内容がより身近に、わかりやすいものであったからこそ、一般の方々からの質問を引き出すことができたのではないかと納得のいく状況であった。

今後もテーマの設定が課題となるが、薬・検査・栄養で共通であり、おのおのが特徴を持って掘りさげることのできる話題が必要である。進化する事業であることを期待させるフォーラムとするためにも、検査分野の話題提供に協力していきたいと考える。



臨床検査技師教育機関からの声

『雨ニモマケズ・・・』

今年の日本は水難続きでした。東北地方は、過去4回マグニチュード8以上の地震があり、今回も津波による被害の悲惨さが身にしみる状況においても、たくましく復興を目指しています。宮沢賢治は岩手県花巻市に生まれ「雨ニモマケズ」の詩を作りました。「雨ニモマケズ」は東北地方の方の強い忍耐力の象徴の様な気がします。

私達にも何かできれば・・・と思う心が大切であり、そこから始まります。今年3月の東日本大震災の現地支援に携わられた、本校救急救命法の講師、谷口氏の活動をご紹介します。

近畿医療技術専門学校 小市 加陽子

先遣隊として、3月16日夜、大阪を出発し仙台に向かいました。仙台駅周辺は地震による家屋の倒壊は殆どなく、阪神淡路大震災の初動に関わった私には、街並みだけを見れば被災地のように感じられませんでした。私に与えられたミッションは、災害ボランティアセンターを立ち上げることで仙台市体育館で開設の準備に関わらせていただきました。開設初日の9時には、多くの方がボランティアを希望して並んでいただきました。県外からのボランティアを受け入れていない状況で、多くは地元の大学生・高校生の若い被災者であることに心を打たれました。家の片づけ、水汲み、買い物など、多くの高齢者のために積極的に活動していました。「有難うと言ってもらい嬉しかった」と多くの活動報告を聞き、その純粋な姿に私自身が感動をもらいました。

一人の学生が就職が決まっている病院が被災して連絡が取れないんです・・・と、そして最後の日に連絡が取れ関連施設で働けることが決まりました、と報告してくれ

一緒に喜びました。大阪に戻ってからその学生がテレビのインタビューに出ているのを見て、ボランティアを続けてくれていることを知り電話を入れました。

「しばらく自分ができることを頑張ってください・・・」と言ってくれました。自ら被災しながらも多くの医療系・福祉系の学生が活動してくれていました。人の痛みわかる立派な医療・福祉の従事者に育ってくれると確信しています。

今回の災害で初動から、DMAT(災害派遣医療チーム)、日赤、医師会等の多くの医療チームが活動を開始していますが、津波・広範・放射能が重なり課題が大きくなりました。近い将来関西で起きるであろう地震に対する防災意識を高め、一人一人が何ができるかを考えなければならぬと痛感しています。

大阪市社会福祉協議会 谷口 昌宏

■ 平成24年度からの大臨技発行物の送付先について

(平成24年度より、施設会員の方への大臨技からの発行物はすべて勤務先施設へ送付されます。)

現在、施設会員（勤務先施設が登録されている会員）で、大臨技からの発行物（大臨技ニュース・会報、簡易文書等）の送付先が自宅として登録されている方については、自宅への送付とさせていただいていましたが、経費削減および事務作業の軽減のため、平成24年4月より、施設会員につきましては、施設毎に施設連絡責任者宛にまとめて送付させていただくこととなりましたので、何卒、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、自宅会員（勤務先施設が登録されていない会員）の方につきましては、従来どおり自宅への送付となります。

■ 平成24年度 大臨技会費納入のお願い

平成24年度 会費納入の時期となりました。会費は前納制をとっていますので、大臨技ニュース12月号に同封されている「郵便振込用紙」で、2月29日までのできるだけ早い時期に納入してください。

納期までに納入されますと、「平成24年度大臨技会員証」が3月中に届きます。

- **平成24年度 大臨技会費 5,000円**
- 大臨技臨床検査技師賠償責任保険（大臨技のみの会員専用で、日臨技会員の方は同等の保険に自動加入されます）に加入される方は、保険料（例：保険期間が1年の場合、2,950円）も同時に納入してください。

加入方法は、大臨技ホームページ (<http://www.osaka-amt.or.jp/>) の「大臨技臨床検査技師賠償責任保険への加入方法について」をご覧ください。

- 新入会および再入会の方は、入会金2,000円を加算した金額になります。

■ 会費の振込方法等についてお願い

- なるべく施設毎にまとめてお振込みください。
- 施設で合算して会費を振り込まれる場合は、郵便振込用紙1枚に合算した金額を記入し振り込んでいただくとともに、納入者名簿の提出をお願いいたします。
- 「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」に加入される場合は、必ず、1名につき郵便振込用紙1枚を使用して振り込んでください。（施設毎の合算での振り込みの場合、当会で保険料の把握が出来なくなります。）
- 大臨技会費および大臨技臨床検査技師賠償責任保険料の領収証につきましては、振込時の「振込票兼受領証」をもって、それに替えさせていただきます。

■ 変更届けについて — 変更が生じた場合、速やかに変更届けを提出してください —

- 勤務先の移動、自宅住所の変更、氏名の変更等が生じた場合は、速やかに「大臨技 会員登録用紙」を大臨技事務局まで郵送してください（電話、FAXでの届出はご遠慮ください）。届出をされませんと、大臨技からの郵送物は、あて先不明で配達されなくなります。

「大臨技 会員登録用紙」は、大臨技ホームページ (<http://www.osaka-amt.or.jp/>) の「大臨技入会案内」より入手できます。

皆様のご意見、情報等お待ちしております。
FAX:06-6763-5653 E-mail:imai@osaka-amt.or.jp
郵送の場合は大臨技事務局までご送付ください。

平成24年1月号の原稿メ切は**11月29日（火）**、平成24年2月号は**1月5日（木）**です。